

**大学発新産業創出プログラム プロジェクト推進型 ビジネスモデル検証支援  
事後評価結果**

|                     |                                |
|---------------------|--------------------------------|
| 研究開発課題名:            | AR 技術を用いた医療手技の自主訓練支援システムの事業化検証 |
| 研究担当者<br>(所属・役職・氏名) | 東京大学 大学院医学系研究科 特任研究員<br>永代 友理  |

**1. 本事業での活動目的**

医療手技訓練における、労働時間が制限された中で医療事故を起こさずに手技技術を習得しなければならないという課題を解決するために開発してきた医療手技の自主訓練支援システムの事業化に向け、顧客ニーズの調査を行い、ニーズを満たすシステム要件を明らかにする。顧客ニーズに合わせたビジネスモデルの検討を行う。また自主訓練効果を向上させるために必要なシステムの機能の調査・開発を行う。

**2. 総合所見**

医療従事者の働き方改革による就業時間制限によって今後困難になると予想される研修医の医療手技教育支援という課題に対して、事業化仮説に基づいたヒアリングを適切かつ積極的に実施して、ターゲットユーザのニーズを明確化し、コンテンツプールを作る仕組みを検討した点を評価する。特許を出願し、事業終了後に助成金も獲得しており、さらなるチームアップや販売チャンネルの検討を進めることを期待する。

以上